

製品安全データシート

作成日：2011年 2月22日

改訂日： 年 月 日

1. 化学物質等及び会社情報

- 製品名／商品名： **ポリエチレン粘着テープ #622**
- 製造者情報： 会社名 リンレイテープ株式会社
住所 栃木県那須烏山市藤田 1600-72
担当部門 栃木工場 品質保証課
電話番号 0287-88-8300 FAX 番号 0287-88-9533

2. 危険有害性の要約

- 分類の名称： 分類基準に該当しない。
- 重要な危険有害性及び影響：
- ・物理化学的危険性： 該当しない。
 - ・健康有害性： 該当しない。
 - ・環境有害性： 該当しない。
- 特有の危険有害性： 該当しない。

3. 組成及び成分情報

- 化学物質又は混合物の区別： 混合物
- 化学名： ー
- 構成： <基材> ポリエチレンクロス
<粘着剤> アクリル系粘着剤

4. 応急措置

- 吸入した場合： 固形物につき、吸引には該当しない。
- 皮膚に付着した場合： ゆっくりと剥がし、その後接触した箇所を水と石鹼で洗い流す。皮膚にかぶれ、痛み等がある場合には医師の手当てを受ける。
- 眼に入った場合： 清浄な水にて数分間充分洗浄をし、眼に傷がついた時や刺激がある時等、必要に応じて医師の手当てを受ける。
- 飲み込んだ場合： 出来るだけ吐き出し、異常を感じる場合には医師の手当てを受ける。

5. 火災時の措置

- 消火剤： 水、泡消火器、粉末消火器、炭酸ガス消火器など。
- 特有の危険有害性： 燃焼により黒煙、一酸化炭素、二酸化炭素等を含むガスが発生する可能性がある。

- 特有の消火方法 : 上記の消火剤を使用して消火する。
- 消火を行なう者の保護 : 消火用防毒マスクや防火服等の保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 : 該当しない。
- 環境に対する注意事項 : 該当しない。
- 回収、中和、封じ込め及び浄化の方法・機材 : 該当しない。
- 二次災害の防止策 : 付近に着火源となるものがあれば速やかに取り除く。飛散したものは回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い :
 - ・技術的対策 : 長期間かつ繰り返し粘着面を皮膚に触れないようにする。また、眼に触れないようにする。
火災にならないよう、炎、火花または高温体との接触を避ける。
 - ・局所排気・全体換気 : 該当しない。
 - ・安全取扱い注意事項 : 該当しない。
- 保管 :
 - ・技術的対策 : 火気注意。
 - ・混触禁止物質 : 現在のところ知見なし。
 - ・保管条件 : 変質を避ける為、直射日光・高温・高湿・水濡れを避け屋内保管する。
荷崩れ防止のため、段積みには充分注意の上出来るだけ低く保管する。
 - ・容器包装材料 : 該当しない。

8. 暴露防止及び保護措置

- 許容濃度 : 該当しない。
- 設備対策 : 特に必要なし。
- 保護具 :
 - ・呼吸器の保護具 : 特に必要なし。
 - ・手の保護具 : 特に必要なし。
 - ・眼の保護具 : 特に必要なし。
 - ・皮膚及び身体の保護具 : 特に必要なし。

9. 物理的及び化学的性質

- 外観等 :
 - ・物理的状态 : 固体
 - ・形状 : ロール状
- 臭い : —
- pH : —

| | | |
|-----------------|---|---|
| ■融点・凝固点 | : | — |
| ■沸点、初留点及び沸騰範囲 | : | — |
| ■引火点 | : | — |
| ■燃焼又は爆発範囲の上限・下限 | : | — |
| ■蒸気圧 | : | — |
| ■蒸気密度 | : | — |
| ■その他 | : | — |

10. 安定性及び反応性

| | | |
|-------------|---|----------------------------|
| ■安定性 | : | 一般的な貯蔵及び取扱いにおいては安定で反応性はない。 |
| ■反応性 | : | 危険な分解反応、自己反応性はない。 |
| ■危険有害反応可能性 | : | 現在のところ知見なし。 |
| ■避けるべき条件 | : | 現在のところ知見なし。 |
| ■混触危険物質 | : | 現在のところ知見なし。 |
| ■危険有害な分解生成物 | : | 現在のところ知見なし。 |

11. 有害性情報

| | | |
|--------------------|---|---------------------------------------|
| ■急性毒性 | : | 現在までのところ知見なし。 |
| ■皮膚腐食性及び皮膚刺激性 | : | 皮膚腐食性はないが、長時間皮膚に貼り付けた状態でいるとかぶれる恐れがある。 |
| ■眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 | : | 現在のところ知見なし。 |
| ■呼吸器感作性又は皮膚感作性 | : | 現在のところ知見なし。 |
| ■生殖細胞変異原性 | : | 現在のところ知見なし。 |
| ■発がん性 | : | 現在のところ知見なし。 |
| ■生殖毒性 | : | 現在のところ知見なし。 |
| ■特定標的臓器毒性（単回暴露） | : | 現在のところ知見なし。 |
| ■特定標的臓器毒性（反復暴露） | : | 現在のところ知見なし。 |
| ■吸引性呼吸器有害性 | : | 現在のところ知見なし。 |

12. 環境影響情報

| | | |
|------------|---|-------------|
| ■生態毒性 | : | 現在のところ知見なし。 |
| ■残留性・分解性 | : | 現在のところ知見なし。 |
| ■生体蓄積性 | : | 現在のところ知見なし。 |
| ■土壤中の移動性 | : | 現在のところ知見なし。 |
| ■オゾン層への有害性 | : | 現在のところ知見なし。 |

13. 廃棄上の注意

| | | |
|--------|---|--|
| ■残余廃棄物 | : | 埋め立てるときは「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に従って、公認の産業廃棄物処理業者もしくは、地方公共団体がその処理を行なって |
|--------|---|--|

いる場合にはその団体に委託処理する。尚、焼却する時には焼却設備を用い、大気汚染防止条例など諸法令に適合した処理を施して焼却する。

- 汚染容器及び包装： 使用済みの容器は可能な限り内容物を除去し、製品と同様に廃棄する。汚染されていない包装材料は、各地域の条例等に従って廃棄する。

1 4. 輸送上の注意

- 国際規制： 該当しない。
- 国連分類： 該当しない。
- 輸送上の注意： 高温多湿、直射日光を避ける。
ダンボールに梱包している為、風雨などによる水濡れに注意する。
落下、引きずる等の荷扱いは避ける。

1 5. 適用法令

- 消防法： 指定可燃物
- 廃棄物の処理及び清掃に関する法律

1 6. その他の情報

- 特になし。

<記載内容の取扱い>

本記載内容は、現時点で当社が入手した資料、情報に基づいて作成しております。記載内容は情報提供であって保証するものではありません。また、本記載内容は通常取扱いを対象としたものですので、特殊な取扱いに際しては適切な安全対策を実施の上、ご使用頂きます様お願い致します。